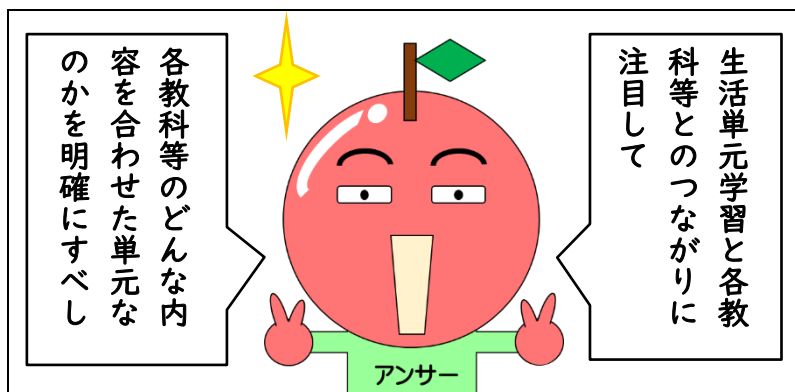
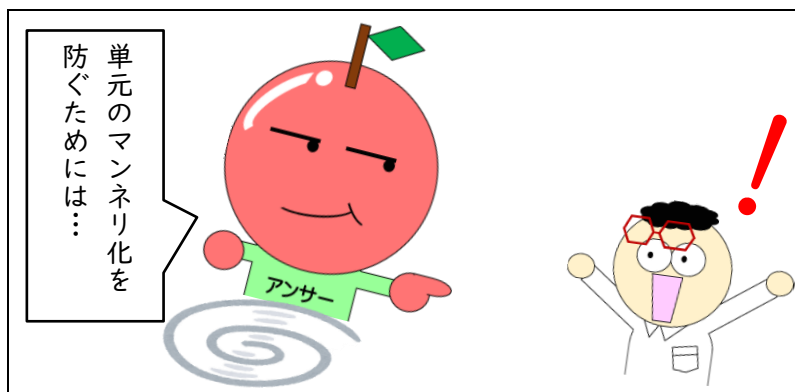
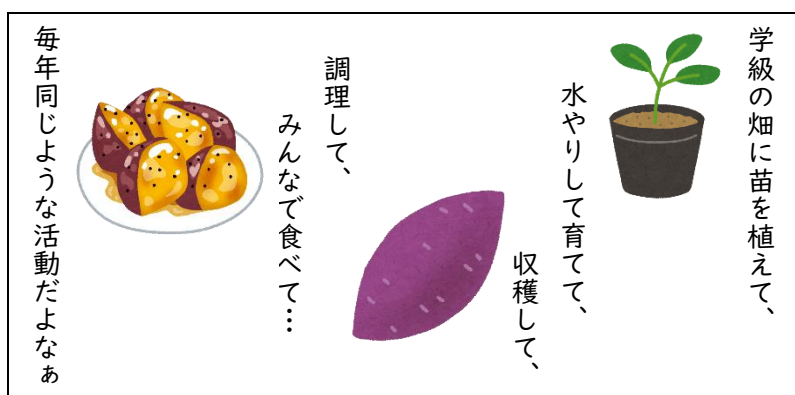


Q4. 生活単元学習では、学習活動がマンネリ化しがちです…。

※ある知的障害特別支援学級にて



各教科等のどんな内容を合わせた単元なのかを明確にする

- 生活単元学習は、各教科等を合わせた指導の一つです。
- 各教科等のどんな内容を合わせる単元なのか、単元計画の段階で考えておく必要があります。
- 前年度と同じようなテーマの単元であっても、取り扱う各教科等の内容を工夫することで、マンネリ化を防ぐことができます。

教科等別に指導を行うか、各教科等を合わせた指導（生活単元学習等）を行うかは、あくまでも“指導の形態”の選択の違いです。児童生徒が学習指導要領で示された各教科等の内容を習得し、目標達成を目指す上で、より効果的に学習することができる指導形態を選択します。

4コマの例のように、野菜の栽培をテーマにした単元は、どうしても「活動ありき」になりがちです。そのため、この単元で設定される具体的な指導内容において、どの各教科等のどんな内容の習得を目指すのかを明確にしておく必要があります。

また、各教科等を合わせて指導を行う場合においても、各教科の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行う必要があります。

例：単元「さつまいもを育てよう」における学習活動例と各教科等の内容のイメージ

（小学校の知的障害特別支援学級の例）

本単元の学習活動（例）	各教科等の内容
手順に従って苗を植える	・【自立活動】見通しをもって作業する
水やりをしたり、草取りをしたりする	・【生活】野菜の栽培に関心をもつ
成長の様子を観察する	・【国語】成長の様子を文章で表現する ・【図画工作】自然を題材にして身近な材料や用具を使ってかく
さつまいもを収穫する	・【生活】野菜の栽培に関心をもつ ・【自立活動】見通しをもって作業する
収穫したさつまいもを調理する	・【算数】量の単位に着目し、量を比較したり、計量したりする ・【生活】作業分担や役割が分かり、自分から取り組む

※表の「各教科等の内容」はあくまでもイメージです。実際には、編成している教育課程における具体的な各教科の内容で考えます。

【文献】中村大介（2020）：生活単元学習と各教科等のつながり。特別支援教育研究。No.753、2-6。

よく一緒に読まれている Q

Q3 「各授業で1時間の具体的なねらいや課題の難易度をうまく設定できません。」

Q5 「生活単元学習で行事単元を計画しているのですが、どのような学習活動がよいのかわかりません。」

[目次に戻る](#)